

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年9月29日
【四半期会計期間】	第35期第1四半期（自平成23年5月16日 至平成23年8月15日）
【会社名】	株式会社 銚子丸
【英訳名】	Choushimaru Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀地 速男
【本店の所在の場所】	千葉県美浜区浜田二丁目39番地
【電話番号】	043-350-1266（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 大塚 健一
【最寄りの連絡場所】	千葉県美浜区浜田二丁目39番地
【電話番号】	043-350-1266（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 大塚 健一
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第1四半期 累計期間	第35期 第1四半期 累計期間	第34期
会計期間	自平成22年 5月16日 至平成22年 8月15日	自平成23年 5月16日 至平成23年 8月15日	自平成22年 5月16日 至平成23年 5月15日
売上高(百万円)	4,469	4,350	17,391
経常利益(百万円)	399	140	1,128
四半期(当期)純利益(百万円)	181	51	581
持分法を適用した場合の投資利益 (百万円)			
資本金(百万円)	315	315	315
発行済株式総数(千株)	2,903	2,903	2,903
純資産額(百万円)	3,593	3,965	3,993
総資産額(百万円)	6,844	7,267	7,162
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	62.50	17.65	200.37
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
1株当たり配当額(円)			27.00
自己資本比率(%)	52.5	54.6	55.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生したリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、欧州やアメリカの経済不安等により円高傾向は収まらず、企業収益に影響を及ぼす恐れがあり、また先の東日本大震災及び福島第一原発の事故による被災地における直接的な被害や、いわゆる自粛ムードによる消費低迷に加え、震災復興のための財政負担の増加懸念などにより、経済情勢の先行きに対する不透明感が高まっております。

外食産業におきましては、雇用・所得環境の不安を抱える消費者の生活防衛意識は根強く外食を手控える傾向が続いており、業種業態を超えた価格競争の激化により経営環境は一層厳しい状況で推移いたしました。

このような状況において当社は、経営理念「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」の具現化に向けて、「良質な食材をより安く、よりおいしく」というメニュー開発や仕入ルートの新規開拓など「おいしい舞台」をさらに深化させるとともに、「親切・思いやり・誠実さ」のある接客サービスにより「おもてなしの舞台」を追求するなど、競合他社とは一線を画した商品・サービスの差別化に努め「すし銚子丸」ブランドの一層の強化を図りました。

店舗開発につきましては市場規模、ならびに顧客ニーズを勘案し、当第1四半期累計期間において南船橋店を新規に出店（平成23年8月）し、当第1四半期会計期間末の店舗数は77店舗となりました。

販売促進につきましては、「初夏の粋づくし」「鮮涼役者の競演」等、時節の旬の食材によるイベントの開催及びセットメニュー・サイドメニューの充実を図り、お客様の来店動機の高揚に努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期累計期間における既存店売上高は前年同期比92.1%にとどまり、売上高は43億50百万円（前年同期比2.7%減）となりました。売上高の減少、店舗改装による修繕費の増加などにより、営業利益は1億36百万円（同64.4%減）、経常利益1億40百万円（同64.8%減）、店舗に係る減損損失45百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は51百万円（同71.8%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1億4百万円増加し、72億67百万円（前事業年度末比1.5%増）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億11百万円増加し、42億12百万円（前事業年度末比2.7%増）となりました。増加の主な内訳は、現金及び預金の増加1億13百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、30億54百万円（前事業年度末比0.2%減）となりました。これは、当第1四半期累計期間において1店舗を新規出店したことにより店舗設備、敷金及び保証金の増加があった一方で、減価償却等により店舗設備等の減少があったことによるものであります。

##### (負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億31百万円増加し、33億1百万円（前事業年度末比4.1%増）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億28百万円増加し、26億16百万円（前事業年度末比5.1%増）となりました。増加の主な内訳は、納税資金として調達した短期借入金3億25百万円の増加、ならびに買掛金2億2百万円の減少、未払金1億87百万円の増加、未払法人税等2億33百万円の減少であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円増加し、6億84百万円（前事業年度末比0.5%増）となりました。

また純資産は、前事業年度末に比べ27百万円減少し、39億65百万円（前事業年度末比0.7%減）となりました。これは当第1四半期累計期間の四半期純利益51百万円及び第34期期末配当金の支払78百万円によるものであります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

( 4 ) 研究開発活動

特に記載すべき事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,800,000
計	10,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年8月15日)	提出日現在発行数(株) (平成23年9月29日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,903,600	2,903,600	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	2,903,600	2,903,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年5月16日～ 平成23年8月15日		2,903,600		315,950		236,829

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年5月15日）に基づく株主名簿による記載をしております。

平成23年8月15日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 2,902,900	29,029	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	2,903,600	-	-
総株主の議決権	-	29,029	-

【自己株式等】

平成23年8月15日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済み株式総数に対する所有株式数の割合（％）
(株)銚子丸	千葉県美浜区浜田二丁目39番地	200		200	0.01
計		200		200	0.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における、役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間（平成23年5月16日から平成23年8月15日まで）及び当第1四半期累計期間（平成23年5月16日から平成23年8月15日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,568,121	3,681,752
売掛金	4,612	2,605
原材料及び貯蔵品	212,943	186,295
預け金	105,435	154,236
その他	210,763	188,000
流動資産合計	4,101,877	4,212,890
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,093,954	1,082,210
その他(純額)	559,628	557,123
有形固定資産合計	1,653,582	1,639,334
無形固定資産	20,924	25,105
投資その他の資産		
敷金及び保証金	744,852	752,562
建設協力金	349,855	339,724
その他	292,840	298,673
貸倒引当金	1,078	1,078
投資その他の資産合計	1,386,470	1,389,882
固定資産合計	3,060,977	3,054,322
資産合計	7,162,855	7,267,213
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,022,086	819,800
短期借入金	150,000	475,000
未払金	759,952	947,794
未払法人税等	285,247	51,313
賞与引当金	65,600	41,400
株主優待引当金	25,688	20,337
その他	180,002	261,048
流動負債合計	2,488,577	2,616,695
固定負債		
資産除去債務	154,609	158,450
長期未払金	359,700	359,700
その他	166,834	166,406
固定負債合計	681,143	684,557
負債合計	3,169,721	3,301,252

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 8月15日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	3,441,087	3,413,947
自己株式	636	636
株主資本合計	3,993,231	3,966,090
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	130
評価・換算差額等合計	97	130
純資産合計	3,993,133	3,965,960
負債純資産合計	7,162,855	7,267,213

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年8月15日)
売上高	4,469,995	4,350,783
売上原価	1,820,241	1,815,828
売上総利益	2,649,754	2,534,955
販売費及び一般管理費	2,267,203	2,398,903
営業利益	382,551	136,051
営業外収益		
受取利息	1,623	1,387
協賛金収入	12,896	2,023
その他	4,861	3,472
営業外収益合計	19,381	6,883
営業外費用		
支払利息	1,402	1,610
現金過不足	1,499	902
その他	15	35
営業外費用合計	2,917	2,547
経常利益	399,015	140,387
特別損失		
減損損失	-	45,901
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,763	-
特別損失合計	61,763	45,901
税引前四半期純利益	337,252	94,486
法人税等	155,776	43,237
四半期純利益	181,475	51,249

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期累計期間 (自 平成23年5月16日 至 平成23年8月15日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第1四半期累計期間 (自 平成23年5月16日 至 平成23年8月15日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

前第1四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年8月15日)
減価償却費 58,622千円	減価償却費 59,496千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成22年5月16日 至平成22年8月15日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月5日 定時株主総会	普通株式	39,197	13.50	平成22年5月15日	平成22年8月6日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成23年5月16日 至平成23年8月15日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月5日 定時株主総会	普通株式	78,389	27.00	平成23年5月15日	平成23年8月8日	利益剰余金

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、グルメ回転寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年8月15日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	62円50銭	17円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	181,475	51,249
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	181,475	51,249
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,903	2,903

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年9月29日

株式会社銚子丸  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉澤 祥次 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銚子丸の平成23年5月16日から平成24年5月15日までの第35期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年5月16日から平成23年8月15日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年5月16日から平成23年8月15日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續が実施される。四半期レビュー手續は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手續である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銚子丸の平成23年8月15日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。